

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	7,193,400株	2023年3月期	7,523,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期	49株	2023年3月期	179,249株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	7,211,152株	2023年3月期	7,509,197株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	310	△13.4	39	△63.8	20	△85.1	55	△75.9
2023年3月期	358	△39.1	108	△71.4	134	△67.6	228	△50.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	7.64		—					
2023年3月期	30.47		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	1,746		1,558		89.3	216.71		
2023年3月期	1,823		1,690		92.7	230.13		

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,558百万円 2023年3月期 1,690百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、EC事業者のビジネス開始・運用に際して必要になる様々なソリューションを提供し、消費者もEC事業者も全ての人々が、より安全で安心な取引ができる健全なEC市場の発展と成長を目指し、EC事業者のためのビジネスインフラとなるECプラットフォームを提供する企業グループとして事業活動を行っております。

当社グループの主要な事業領域となる、国内EC市場は、販売商品の多様化、市場参加者の増加、物流事業者による配達時間の大幅な短縮化、SNSによる情報流通量の増加等を背景に継続的な成長を遂げてまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急成長した国内EC市場は2022年度以降、経済活動が正常化するにつれて、成長が緩やかになりましたが着実に成長を続けております。消費者においては、新たなライフスタイルやワークスタイルの定着も見られ、時流に沿ったビジネス展開が求められるようになりました。このような変化の激しい市場で課題を抱える事業者を支援するため、当社グループでは、店舗売上の向上につながるオプション・アライアンスサービスの拡充やECコンサルティング事業への参入、Web接客サービス等の顧客体験価値を向上させるソリューション展開により事業領域を拡大しながら「テクノロジーを活用する人の力を最大化させるプラットフォーム」であることを目指しています。

このような状況のもと、当連結会計年度において当社グループは、市場成長に伴う売上高の確保を目指すとともに、今後の市場環境に適応するための成長投資を積極的に行いました。

<株式会社フューチャーショップ>

「futureshop」を提供する株式会社フューチャーショップでは、「futureshop」で構築されたECサイトで「au PAY（ネット支払い）」が利用できるオプションサービス提供開始など、「futureshop」上でのオプション・アライアンスサービスの拡充を行い対前年同期比で増収増益となりました。また2023年11月には、「futureshop」サービスリリース20周年を迎えたイベントとして「FUTURE 20th SQUARE」をソーシャルVRプラットフォーム「VRChat」上にオープンしテクノロジーとクリエイティビティが融合するバーチャル空間において、未来の消費者とのコミュニケーションを模索する取り組みを行っております。

<株式会社ソフトル>

「通販する蔵」を提供する株式会社ソフトルでは、「通販する蔵」とクラウドPOS「スマレジ」とのAPI連携を開始し商品情報、在庫情報、会員情報、ポイント情報など、実店舗とのOMO戦略を進める上で必要な連携機能の強化等を行い売上高については堅調に推移したものの、一方で成長投資として「通販する蔵」に生成AIを活用したバックオフィス業務効率化を図るオプション機能の開発を行ったことや、エンジニアのスキルアップコストが増加したため、対前年同期比では増収減益となりました。

<その他>

前連結会計年度にグループ化したSAMURAI TECHNOLOGY株式会社や株式会社空色については、確保したエンジニアリソースの更なるスキルアップを目的とした投資を強化し、株式会社空色では新しいWeb接客の形を提案するソリューションの開発を行っております。

この結果、当社グループの当連結会計年度の経営成績及び主要な連結子会社の業績は、下表の通りとなりました。

(連結業績)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増減額	増減率 (%)
売上高	3,196,433	3,557,276	360,842	11.3
EBITDA	699,016	794,441	95,425	13.7
営業利益	580,350	644,001	63,651	11.0
経常利益	608,006	702,414	94,407	15.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	441,358	414,864	△26,494	△6.0

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

〈主要な連結子会社の業績〉

(単位：千円)

		2023年3月期	2024年3月期	増減額	増減率 (%)
(株)フューチャーショップ	売上高	2,435,375	2,574,630	139,254	5.7
	営業利益	699,878	819,102	119,224	17.0
(株)ソフテル	売上高	720,903	748,630	27,727	3.8
	営業利益	92,095	57,992	△34,103	△37.0

(2) 当期の財政状態の概況

＜資産＞

当連結会計年度末における流動資産は2,305,885千円となり、前連結会計年度末に比べ892千円減少いたしました。これは主に自己株式の取得により預け金が111,226千円減少したことなどによるものであります。固定資産は1,576,802千円となり、前連結会計年度末に比べ377,587千円増加いたしました。これは主に投資有価証券の買い増しや時価上昇に伴い投資有価証券が439,374千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて376,694千円増加し3,882,688千円となりました。

＜負債＞

当連結会計年度末における流動負債は915,574千円となり前連結会計年度末に比べ107,326千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が70,996千円増加したことによるものです。固定負債は122,138千円となり前連結会計年度末に比べて40,792千円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価上昇等に伴い繰延税金負債が43,760千円増加したことによるものです。この結果、負債合計は1,037,713千円となり前連結会計年度末に比べて148,119千円増加いたしました。

＜純資産＞

当連結会計年度末における純資産合計は2,844,974千円となり前連結会計年度末に比べて228,575千円増加いたしました。これは主に自己株式109,797千円の取得や配当金の支払い194,220千円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益414,864千円の計上やその他有価証券評価差額金が117,729千円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は73.3%（前連結会計年度末は74.6%）となりました。

なお、当社は、ECプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて125,154千円増加し、1,733,879千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は778,607千円（前連結会計年度は163,971千円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益696,045千円、減価償却費119,924千円、のれん償却額30,515千円、投資有価証券売却益24,146千円、預け金の減少額111,226千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は367,764千円（前連結会計年度は56,403千円の支出）となりました。

これは主に株式会社フューチャーショップにおける新機能等のソフトウェア開発により無形固定資産取得による支出113,748千円、投資有価証券の売却による収入32,739千円、持分法適用関連会社となるエネサイクル株式会社への出資を含む投資有価証券の取得による支出278,625千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は307,406千円（前連結会計年度は142,767千円の支出）となりました。

これは主に配当金の支払額193,995千円及び自己株式の取得による支出109,797千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

(当社グループ全体の見通し)

国内 BtoC-EC 市場は、欧米諸国や中国のEC化率と比較して未だ低い水準にあり今後とも大きな成長が期待されます。実店舗販売からEC店舗販売へのEC化の流れ、小売業のEC化の流れは今後も続くものと考えております。

そのような環境の下、当社グループはECサイトのフロントエンドであるインターフェースから売上受注や在庫管理などのバックエンドまで一気通貫でソリューションをSaaS型で提供できるグループの強みを生かして今後も成長していく方針であります。当社グループとしては2024年3月期に続き、このような環境を勘案しながら2025年3月期業績予想を策定いたしました。2025年3月期の売上高3,815百万円（前期比7.3%増）、営業利益604百万円（前期比6.1%減）、経常利益683百万円（前期比2.7%減）、当期純利益454百万円（前期比9.6%増）を計画しております。

(売上高)

当社グループは当社が持株会社として連結事業子会社である株式会社フューチャーショップ、株式会社ソフテル、株式会社TradeSafe、SAMURAI TECHNOLOGY株式会社、株式会社空色の5社を統括しております。各連結事業子会社の運営する事業は、ECサイト運営支援という観点で繋がっており、当社グループの運営する事業はECサイト運営事業者に必要なサービスをグループワンストップで提供する「ECプラットフォーム事業」の単一セグメントとしております。主な子会社毎の具体的な売上高の設定方法は以下の通りです。

①株式会社フューチャーショップ

株式会社フューチャーショップは中小・中堅企業を中心としたECサイト運営事業者向けにSaaS型にてECサイト構築、運用支援プラットフォーム「futureshop」を提供しております。売上高は主にフューチャーショップサービス売上（月額利用料、初期導入費用）及び提携サービスに伴う売上で構成されております。フューチャーショップサービス売上については、前期の実績を考慮して店舗件数は前期末時点から0.5%増加し、顧客当たり売上も増加を見込んで算出しております。提携サービスに伴う売上については前期の実績及び決済代行会社を通じた流通総額の増加推移を勘案して算出しております。結果、株式会社フューチャーショップの売上高は2,669百万円（前期比3.7%増）を見込んでおります。

②株式会社ソフテル

株式会社ソフテルは多店舗展開するEC運営者のバックヤードを一元管理するシステム（「通販する蔵」）などをSaaS型にて顧客のニーズに合わせて一部、カスタマイズ提供しております。売上高は主に「通販する蔵」の初期導入及び改修に伴うカスタマイズ売上及び毎月定額で設定する月額保守売上で構成されております。カスタマイズ売上については、2025年3月までの受注予定案件を中心に、案件検収時期及び当社グループであるSAMURAI TECHNOLOGY株式会社での開発リソース確保を勘案して予想値を策定しております。結果、株式会社ソフテルの売上高は765百万円（前期比2.2%増）を見込んでおります。

(売上原価)

売上原価は主に開発人件費、サーバ関連費用及び減価償却費であります。開発人件費は人員採用計画及び前期の実績により算出しております。サーバ関連費用は売上に一定料率を乗じて算出しております。減価償却費は主に開発ソフトウェアの減価償却となり、ソフトウェア開発計画に伴うソフトウェア仮勘定からの資産計上分を算出しております。上記の結果、売上原価は1,674百万円（前期比8.6%増）、売上総利益は2,140百万円（前期比6.2%増）を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は1,536百万円（前期比12.0%増）を見込んでおります。販売費及び一般管理費は人件費と支払報酬等のその他経費で構成されており、人件費は業務拡大を背景に主に顧客サポート部門、管理部門及び営業部門の人員採用計画により算出しております。また、認知度向上及び顧客獲得のため宣伝広告費の増額を予定しております。その他経費については、直近の実績をベースに勘定科目毎に集計しております。この結果、営業利益は604百万円（前期比6.1%減）を見込んでおります。

(営業外損益、経常利益)

営業外収益は保有する Wistron Information Tech & Services Corp 株式からの受取配当金5百万円と持分法による投資利益として73百万円を見込んでおります。営業外費用の発生は見込んでおりません。この結果、経常利益は683百万円(前期比2.7%減)を見込んでおります。

(特別損益)

特別利益は投資有価証券売却益10百万円(前期比58.6%減)を見込んでおります。特別損失の発生は見込んでおりません。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

税金費用は実効税率ベースで算定し238百万円を予想しております。以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は454百万円(前期比9.6%増)を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は現在、日本国内において事業を展開していることから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,608,724	1,733,879
売掛金及び契約資産	290,977	293,050
仕掛品	5,872	7,562
前払費用	91,027	88,808
預け金	112,220	994
その他	201,958	184,825
貸倒引当金	△4,002	△3,234
流動資産合計	2,306,778	2,305,885
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	68,756	62,516
工具、器具及び備品（純額）	13,193	10,224
その他（純額）	9,032	5,747
有形固定資産合計	90,981	78,489
無形固定資産		
のれん	61,031	-
ソフトウェア	257,924	283,155
ソフトウェア仮勘定	59,170	45,280
その他	5,144	77
無形固定資産合計	383,270	328,514
投資その他の資産		
投資有価証券	563,479	1,002,854
破産更生債権等	3,058	2,562
敷金及び保証金	98,090	102,601
繰延税金資産	47,358	47,463
その他	16,017	16,863
貸倒引当金	△3,041	△2,546
投資その他の資産合計	724,962	1,169,798
固定資産合計	1,199,215	1,576,802
資産合計	3,505,993	3,882,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,446	33,676
短期借入金	47,000	47,000
前受金	408,635	422,847
未払法人税等	104,885	175,881
賞与引当金	581	5,107
その他	209,699	231,062
流動負債合計	808,247	915,574
固定負債		
繰延税金負債	21,667	65,428
資産除去債務	47,445	47,629
その他	12,232	9,081
固定負債合計	81,345	122,138
負債合計	889,593	1,037,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,400	210,400
資本剰余金	160,400	160,400
利益剰余金	2,123,373	2,095,031
自己株式	△139,224	△36
株主資本合計	2,354,948	2,465,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261,450	379,180
その他の包括利益累計額合計	261,450	379,180
純資産合計	2,616,399	2,844,974
負債純資産合計	3,505,993	3,882,688

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,196,433	3,557,276
売上原価	1,392,326	1,542,088
売上総利益	1,804,107	2,015,187
販売費及び一般管理費	1,223,756	1,371,185
営業利益	580,350	644,001
営業外収益		
受取利息	22	26
受取配当金	25,715	23,068
為替差益	628	23,087
協賛金収入	-	7,500
その他	1,452	5,883
営業外収益合計	27,818	59,566
営業外費用		
支払利息	-	188
有限責任事業組合運用損	-	836
その他	162	128
営業外費用合計	162	1,153
経常利益	608,006	702,414
特別利益		
投資有価証券売却益	71,526	24,146
特別利益合計	71,526	24,146
特別損失		
減損損失	-	30,515
特別損失合計	-	30,515
税金等調整前当期純利益	679,533	696,045
法人税、住民税及び事業税	235,583	289,495
法人税等調整額	2,591	△8,314
法人税等合計	238,175	281,181
当期純利益	441,358	414,864
親会社株主に帰属する当期純利益	441,358	414,864

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	441,358	414,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,586	117,729
その他の包括利益合計	27,586	117,729
包括利益	468,944	532,593
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	468,944	532,593

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	210,400	160,400	1,682,015	△70	2,052,744
当期変動額					
剰余金の配当					-
親会社株主に帰属する当期純利益			441,358		441,358
自己株式の取得				△139,154	△139,154
自己株式の消却					-
利益剰余金から資本剰余金への振替					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	441,358	△139,154	302,204
当期末残高	210,400	160,400	2,123,373	△139,224	2,354,948

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	233,864	233,864	2,286,609
当期変動額			
剰余金の配当			-
親会社株主に帰属する当期純利益			441,358
自己株式の取得			△139,154
自己株式の消却			-
利益剰余金から資本剰余金への振替			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27,586	27,586	27,586
当期変動額合計	27,586	27,586	329,790
当期末残高	261,450	261,450	2,616,399

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	210,400	160,400	2,123,373	△139,224	2,354,948
当期変動額					
剰余金の配当			△194,220		△194,220
親会社株主に帰属する当期純利益			414,864		414,864
自己株式の取得				△109,797	△109,797
自己株式の消却		△248,985		248,985	-
利益剰余金から資本剰余金への振替		248,985	△248,985		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△28,341	139,187	110,846
当期末残高	210,400	160,400	2,095,031	△36	2,465,794

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	261,450	261,450	2,616,399
当期変動額			
剰余金の配当			△194,220
親会社株主に帰属する当期純利益			414,864
自己株式の取得			△109,797
自己株式の消却			-
利益剰余金から資本剰余金への振替			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	117,729	117,729	117,729
当期変動額合計	117,729	117,729	228,575
当期末残高	379,180	379,180	2,844,974

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	679,533	696,045
減価償却費	117,756	119,924
のれん償却額	909	30,515
減損損失	-	30,515
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△147	△1,263
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,036	4,525
受取利息及び受取配当金	△25,737	△23,095
支払利息	-	188
為替差損益 (△は益)	△848	△22,206
投資有価証券売却損益 (△は益)	△71,526	△24,146
売上債権の増減額 (△は増加)	10,109	△1,577
棚卸資産の増減額 (△は増加)	28	△1,689
前払費用の増減額 (△は増加)	△370	2,218
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,078	△3,770
前受金の増減額 (△は減少)	△2,151	14,211
預け金の増減額 (△は増加)	△111,289	111,226
その他	△132,708	19,611
小計	420,441	951,234
利息及び配当金の受取額	25,737	23,095
利息の支払額	-	△188
法人税等の支払額	△282,207	△195,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,971	778,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,684	△3,233
無形固定資産の取得による支出	△101,633	△113,748
投資有価証券の売却による収入	106,160	32,739
投資有価証券の取得による支出	△9,996	△278,625
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△43,283	-
その他	33	△4,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,403	△367,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,612	△3,612
自己株式の取得による支出	△139,154	△109,797
配当金の支払額	-	△193,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,767	△307,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	453	21,718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,744	125,154
現金及び現金同等物の期首残高	1,643,469	1,608,724
現金及び現金同等物の期末残高	1,608,724	1,733,879

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ECプラットフォーム事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	356円26銭	395円50銭
1株当たり当期純利益	58円78銭	57円53銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	441,358	414,864
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	441,358	414,864
普通株式の期中平均株式数(株)	7,509,197	7,211,152

(重要な後発事象)

該当事項はありません。